TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

これが神のやり方―養子縁組の御霊

ローマの信徒への手紙 8:12-17

2026 年 11月 21 日 & 11 月 22 日

余沢 武 牧師

I. 序論

皆さん、こんにちは。

これまで、ローマ人への手紙を通して、私たち全員が神に対して罪を犯したということを学んできました。イエスが十字架につけられたときに、イエスにあって罰せられたのは私たちの罪であるということを受け入れるとき、私たちはイエスと一つになります。そして、私たちは赦され、義と認められるのです。

私たちは今、キリストにある者となっているので、イエスが私たちの「罪のいけにえ」となってくださるだけでなく、キリスト・イエスにある「いのちの霊の法則」が、私たちのうちに働き、私たちの「罪の性質」に打ち勝つのです。

そして、私たちの「肉の思い」は、「御霊の思い」に取って代わられます。今日は、これが実際の生活の中でどのように起こるのかを見ていきます。まず、祈りましょう。

II. 養子縁組をする御霊

(1)肉の行いを殺す

ローマの信徒への手紙 8:12-13 を開いてみましょう。こう書かれています。

12 それで、きょうだいたち、私たちは、肉に従って生きるという義務を、肉に対して負ってはいません。13 肉に従って生きるなら、あなたがたは死ぬほかはありません。しかし、霊によって体の行いを殺すなら、あなたがたは生きます。

ここでパウロは、「私たちは、肉に従って生きる義務を、肉に対して負ってはいない」と語っています。

以前、私は動物病院で働いていました。もし、以前の上司から電話がかかってきて、次の日曜日に病院で働いてくれと頼まれたとします。日曜日は、ほとんどのスタッフが休暇を取るからです。私は、もちろん、「はい」と答えることはできます。でも、そうする必要はありません。彼は、もう私の上司ではないからです。彼に従う義務はありません。今、私は自由なのです。

先週、私たちには 2 種類の生き方があることを学びました。

「肉」つまり、自分が望むことに従う生き方と、「霊」つまり、神が望まれることに従う生き方です。

ある者は「肉のこと」、つまり、自分の欲望、自分の富、自分の栄光に心を向け、ある者は「霊の事柄」、つまり、神の御心、神の備え、神の栄光、神の性質に心を向けます。一方は「死」をもたらし、もう一方は「命と平和」をもたらします。

私たちは、かつて「肉に従って」、自分の欲望や富、そして自分の栄光のために生きていました。しかし、もうそうする必要はありません。今、私たちは「御霊に従って」、神の御心や神の備え、神の栄光と御性質のために生きることができます。しかし、そうするためには、パウロは次のように言っています。

「あなた」には、しなければならないことがあります。何かを「殺す」、つまり「何かを抹殺する」、「何かを根絶するために抜本的な措置を講じる」必要があります。何を根絶するのでしょうか？それは「肉の行い」です。

イエスはこう言われています：

「右の目があなたをつまずかせるなら、えぐり出して捨てなさい。」(マタイによる福音書 5:29a)

「右の手があなたをつまずかせるなら、切り取って捨てなさい。」(マタイによる福音書 5:30a)

「私に付いて来たい者は、自分を捨て、日々、自分の十字架を負って、私に従いなさい。(ルカによる福音書 9:23)

私たちは、神の目から見て「罪」となるもの、つまり、「神が望まれること」よりも「自分が望むこと」を優先させるあらゆるものを排除するために、抜本的な行動を取る必要があります。

私は、「不道徳な行い」を殺すために、テレビを処分したり、パソコンや携帯電話の使用を制限したり、行く場所を制限したりしている人々を知っています。

「殺す」という表現は現在形であるため、これは継続的に繰り返し、毎日行われるべきものです。
最も重要なのは、これが「御霊によって」行われるべきであるということです。聖霊に与えられる願い、決意、自制心、そして力があってこそ、初めて成し遂げられるのです。

でも、どうすればよいのでしょうか。イエスを見てみましょう。40 日間の試練の間、イエスは聖霊に導かれていました。
最初の試みは、悪魔が「石をパンに変えてみよ」と求めたときに、イエスが「神の御心」よりも「ご自身の望み」を選ぶかどうかを試すものでした。
2 番目の試みは、悪魔が、神殿の屋上から飛び降りるよう求めたときに、イエスが「神の栄光」よりも「自分の栄光」を選ぶかどうかを試すものでした。
3 番目の試みは、悪魔が、自分を礼拝し、世のすべての国々とその栄華を受け取るよう求めたときに、イエスが「神の備え」よりも「自分の富」を信頼するかどうかを試すものでした。

イエスは、御霊に導かれて、祈り、神の御言葉についての黙想、神の御言葉への従順を通じて、そうした「肉の欲望」を一つ残らず滅ぼされました。

同様に、私たちが御霊に導かれるとき、御霊は私たちに、祈り、神の御言葉についての黙想、神の御言葉への従順を通じて、私たちの「肉の欲望」を絶ち切るための願い、決意、自制心、そして力を与えてくださいます。それは絶えず、繰り返し、そして毎日続くものです。

(2)神の子
14-15 節:[14] 神の霊に導かれる者は、誰でも神の子なのです。[15] あなたがたは、人を奴隷として再び恐れに陥れる霊ではなく、子としてくださる霊を受けたのです。この霊によって私たちは、「アッバ、父よ」と呼ぶのです。

つまり、聖霊の目的は、私たちを「神の子」とすることです。聖霊は「養子縁組の御霊」なのです。

ローマ時代の養子縁組は、次のような点で独特なものでした。
養子となった者は、元の家族におけるすべての権利を失い、新しい家族における息子としてのすべての権利を得る。借金を含め、以前の生活は完全に消し去られる。新しい父親の財産の相続人となり、その父親の他の子供たちと共同相続人となる。
養子縁組は 7 人の証人の立会いのもとで行われた。

同様に、聖霊は、「罪の奴隷」としての私たちの過去をすべて消し去り、私たちを神の相続人、そしてイエスと共に相続人としてくださいます。
私たちを「神の子」へと変えてくださり、私たちは、自分の父を信頼し、頼り、従う子供たちのように「アッバ、父よ！」と叫ぶ者となって、自由に願いを神に捧げることができるようになるのです。

これが、「エデンの園」にいたアダムとエバの問題点でした。彼らが神に対して罪を犯し、禁断の果実を食べたときのことです。二人は神を「愛に満ちた父」として信頼し、頼り、従うことができませんでした。むしろ、神を「意地悪な主人」として恐れるようになったのです。

クリスチャンになる前、私たちもまた、神を「愛に満ちた神」として信頼し、頼り、従うことはできませんでした。しかし、今、聖霊の導きによって、私たちは神を「父」と呼び、神のもとへ行き、神と語り合い、神の御言葉に耳を傾け、神に従い、そして「肉の行い」を殺しています。毎日です。

私たちは、通常、これを「日々の清聴のとき」に行います。そのときに、私たちは、自分の欲望、自分の富、自分の栄光といった「肉の思い」を殺し、神の御心、神の備え、神の栄光、神の御性質という「御霊の思い」に入れ替えます。

ですから、もし「日々の清聴のとき」を持っていないなら、ぜひ始めるべきです。必要なものは、目覚まし時計、聖書、ノート、ペン、そして眠気を覚ますための1杯のコーヒーだけです。そして、子供が「愛に満ちた父」のもとへ近づくように、神に近づき、神の助けを借りて、私たちの「肉の行い」を死に渡しましょう。

私が「肉の思い」に支配されている夫(あるいは妻)だとしましょう。例えば、家の中をある特定の方法で整えておきたい。

食事をある特定の方法で用意してほしい。
お金は特定の使い方をしたい。
そして、自分の望みが叶わないと、妻に対して腹を立てたり、意地悪になったり、大声を出したり、あるいは黙り込んでしまったりする、とします。

「日々の清聴のとき」に、まず簡単に祈り、父なる神に自分を導いてくださるようにお願いします。
次に、神の御言葉である聖書（通常は一章）を読み、神が私に何を教えようとしておられるのかを学びます。神は、「妻を愛しなさい」（あるいは「夫に従いなさい」）とか、「両親を敬いなさい」）、あるいは「行って和解しなさい」とおっしゃるかもしれません。私はその聖句を書き留めます。

そして、祈ります。なぜ自分のやり方で物事を進めたいのか、その理由を神に伝えます。すると神は、自分のやり方を捨て、神に信頼し、愛することを学び、謙虚になり、許しを請うようにと教えてくださいます。私はその教えに耳を傾けます。愛の欠如、怒り、謙虚さの欠如を捨て去り、神に従います。そして、御霊の導きに従って、忍耐強く、親切に振る舞い、謙虚に許しを請うことを学びます。

また、仮に私が「神の備え」ではなく「金銭への信頼」に支配されているとしましょう。高収入や昇進、欲しいものが手に入らないとき、私は不安になったり、嫉妬したり、とげとげしくなったりするでしょう。

聖書を読んでいると、神は私に「今持っているもので満足しなさい」とか「まず神の国と神の義とを求めなさい。そうすれば、これらのものはみな添えて与えられる」とおっしゃるかもしれません。私はその聖句を書き留めます。

次に、祈りながら、なぜ私や私の家族にお金が必要なのかを神に伝えます。すると神は再び、自分のやり方を捨てて、神と神の備えを信頼するようにと告げてくださいます。私はその教えに耳を傾けます。「金銭への愛着と依存」を断ち切って、神に従います。聖霊の導きに従い、神と、神の備え、そして神の誠実さを信頼することを学ぶでしょう。

イエスがご自身の望み、富、栄光を捨て、神の御心、備え、栄光、御性質のために生きたように、私もまた、神の御心、備え、栄光、御性質のために生きます。キリスト・イエスにある「いのちの霊の法則」は、このようにして、私たちが罪深い性質を克服するのを助けます。

(3)聖霊が証ししてくださる
それが起こるとき、**16-17節：[16] この霊こそが、私たちが神の子どもであることを、私たちの霊と一緒に証ししてくださいます。[17] 子どもであれば、相続人でもあります。神の相続人、しかもキリストと共同の相続人です。キリストと共に苦しむなら、共に栄光をも受けるからです。**

こうした葛藤、苦しみ、そして変化を通して、聖霊に導かれる中で、聖霊と私たち自身の霊の両方が、私たちが「神の子」であり、「神の相続人」であることを証ししています。

私たちは、イエスとともに、神の完全な御性質、本質、そして栄光を「相続財産」として受け継ぐことになります。これが、「神の御霊」が私たちの内でなしておられることです。

神が人を創造されたとき、「我々のかたちに、我々の姿に人を造ろう」と言われたのは、神の御性質や御栄光に似せて造るという意味です。しかし、「人は皆、罪を犯したため、神の栄光を受けられなくなっています。」しかし、今、父と子と聖霊の御業によって、この「創造の計画」はあなたと私の中で完成されるのです。

私たちは、神の子として、「神のかたち」、「神の御性質」、「神の栄光」を持つことになります。

もし、まだイエスを受け入れていない方がいらっしゃいましたら、ぜひイエスをあなたの「主であり救い主」として受け入れるよう心からお勧めします。そうすれば、御霊が、あなたを「罪の性質」から解放し、「神の子」へと変えてくださいます。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書　協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2018

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

スモールグループ参加申込み

http://t-b-c.us/sgsu

オンライン献金

http://t-b-c.us/give

SG レッスンの PDF

https://gotbc.org/sg4726jp

TBC カレンダー
（TBC のスケジュールが確認できます）
https://tokyobaptist.org/calendar

★クラス 201
クリスチャンとして成長するには
11 月 28 日(土)1:30pm – 5:30pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: クラス 101 を修了したメンバーの方

★クラス 301
私の賜物ってなんだろう？
1 月 21 日(日)1:00 pm ～ 5:00 pm
場所: ルーム 302(3 階)
参加条件: クラス 201 を修了したメンバーの方

全クラスの申し込み：
https://t-b-c.us/classes

急募！

奉仕者募集中！

1.日本語訳レイアウト&印刷

（女性 2 名募集）

英語のスキルは必要ありません。

・月 1 回、土曜日 16 時に TBC にて作業します。
今見ているこの紙を作成&印刷してもらいます。ひな形があるので翻訳された原稿をコピーして貼り付け整え、印刷するだけの簡単な作業です。

***スキル：MS Word の操作ができる方。**
***TBC の教会員であることが必須です。**

2.礼拝メッセージ翻訳

・1 ケ月半～2ケ月に 1 度、自宅でできます。
スケジュールは都合に合わせて選べます。
英語と日本語が出来る方

連絡先：hiromik@tokyobaptist.org